

事務事業名 電算庁舎移転事業		所属部 総務部	所属課 情報システム課	
総合計画体系	政策名 (I) みんなで築くまち《協働・行政経営》	所属G 情報システムグループ	課長名 末次 治良	
	施策名 (05) 時代にあった行政サービスの実現	担当者名 門脇 史明	電話番号 0854-40-1101 (内線) 4700	
	目的: 行政機能 対象: 行政機能 意図: 公平で効率的なサービスを提供する。	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 1 0 0 1 事業名 項 目 中事業 中事業 0 5 5 0 0 5 事業名	電算事務管理費	
	基本事業名 (012) 業務と組織機構の効率化 目的: 行政機能 対象: 行政機能 意図: 効率的な組織機構で効果的な行政サービスを提供する。		電算庁舎移転事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (25 年度～ 26 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
県道松江木次線バイパス整備工事に伴い、大東分庁舎(電算庁舎)区域の整備工事が平成25年度から開始され、これに伴い電算庁舎の移転対応が必要となった。 平成26年11月末での移転完了が示され、センター機器の移設だけでなく、ネットワーク環境の整備など関連する作業も必要であった。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	26年度実績(26年度に行った主な活動) ・移転計画書の作成 ・ネットワーク設計業務(詳細)実施 ・基幹系ネットワーク再構築(移転)実施 ・情報系ネットワーク再構築(移転)実施 ・システム機器移設実施	27年度計画(27年度に計画する主な活動) 平成26年度完了事業				
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	ア ネットワーク設計案作成	式		1	0	
	イ ネットワーク詳細設計	式		0	1	
	ウ 移転計画書作成	式		0	1	
	エ 移転工事	式		0	1	

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	電算庁舎	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
			ア 電算庁舎施設(機器含む)	棟		1	1	
			イ 基幹系ネットワーク移設	式		0	1	
			ウ 情報系ネットワーク移設	式		0	1	
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	バイパス工事にあわせて移転する。	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
			ア ネットワーク設計案作成	式		1	1	
			イ 移転計画書作成	式		0	1	
			ウ 移転業務	式		0	1	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
ネットワーク詳細設計業務 4,449千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
基幹系ネットワーク再構築 17,900千円		県支出金	千円			
情報系ネットワーク再構築 17,446千円		地方債	千円			
システム機器等移設業務 15,118千円		その他	千円		1,617	56,438
その他 回線移設、処分費等 1,525千円		一般財源	千円			
		事業費計(A)	千円		1,617	56,438
	人件費	正規職員従事人数	人	4	6	
		延べ業務時間	時間	292	1,312	
		人件費計(B)	千円	1,137	5,101	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,754	61,539	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
行政サービスについては、業務システムの使用頻度が高くなりつつあるため、サービスの中断・低下が発生しないよう、円滑な移転が求められる。	特になし	業務システムの停止などによる市民サービスへの影響が生じないような移転が求められていた。

事務事業名	電算庁舎移転事業	所属部	総務部	所属課	情報システム課
-------	----------	-----	-----	-----	---------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	ネットワーク設計業務及び既存ネットワークの移転事業であるため、削減の余地がない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	県道バイパス工事に伴い、既存施設が取り壊しが平成26年12月から行われるため、廃止、休止を行なうことができない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	類似事業なし。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		既存ネットワークの移転にかかる設計業務であり、他社で実施できないため削減余地なし。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		設計業務にかかる事務処理のみのため人件費削減の余地なし。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		電算庁舎の移転は、基幹系及び内部情報系の業務システム全般に関わる事業であり、結果として全住民にかかわる事業であるため、公平・公正である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			

評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	業務に影響が生じないよう策定した移転計画書に基づき移転を行った。特に業務上システムを停止することが難しいため、休日を利用して安全な移転を実施するため、移転先において事前に新規にネットワークを構築、テストを行った上での移転を行う方法を選択し、実施した。また、基幹系及び情報系については同時に移転が難しいため、週を分けた移転を実施した。	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		×																		
	低下	×	×																		
平成26年度完了事業である。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			